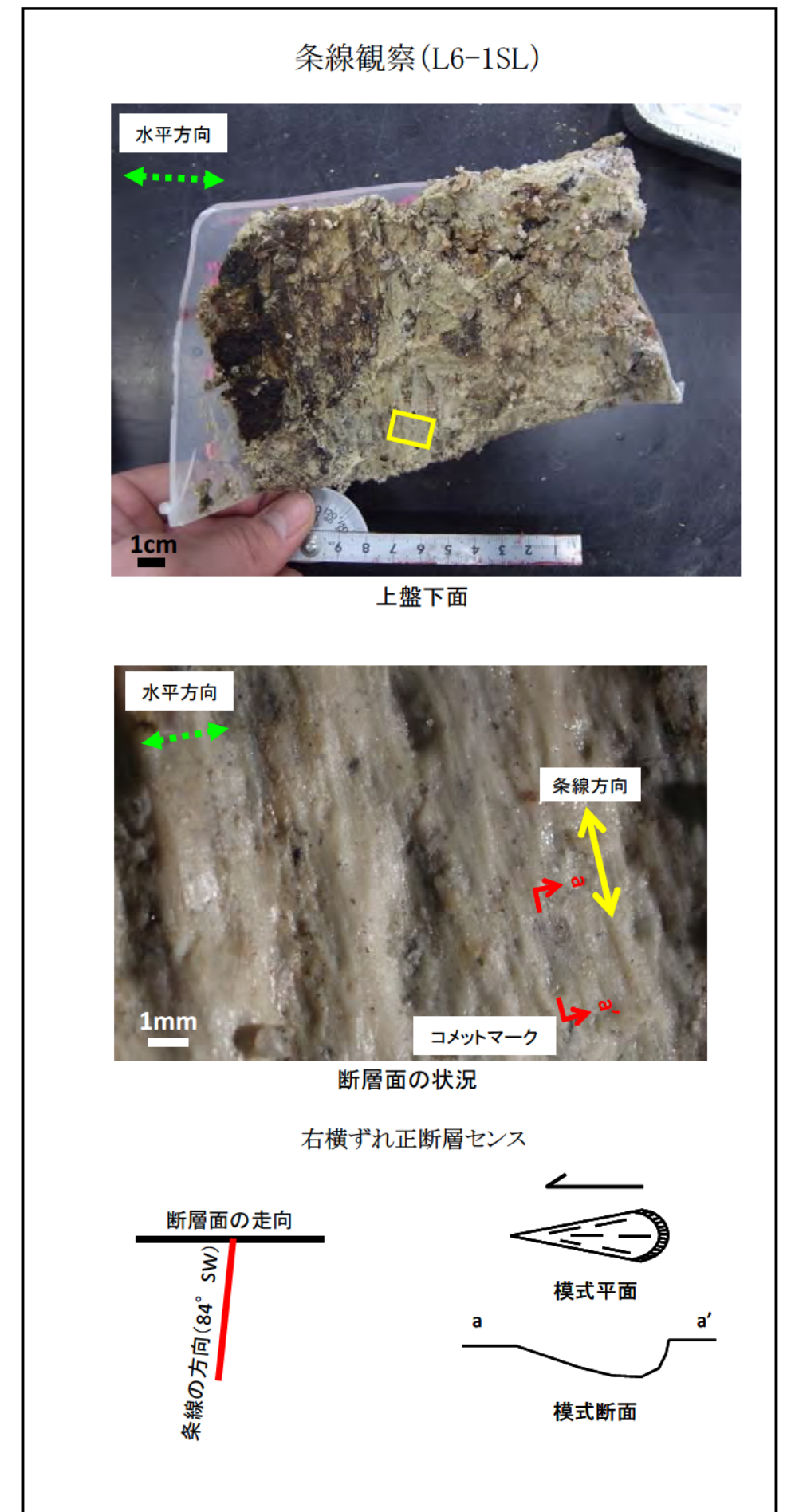
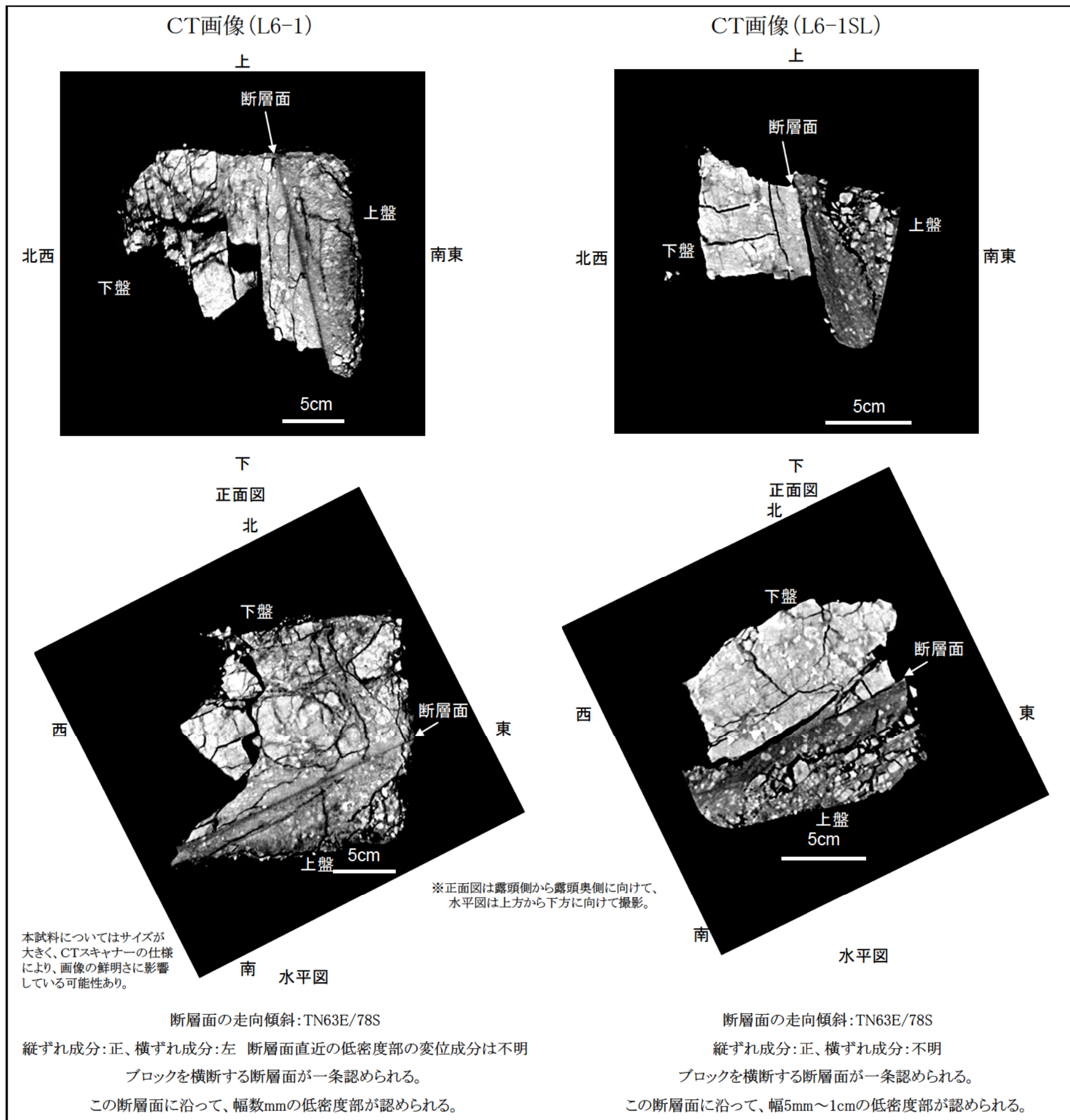
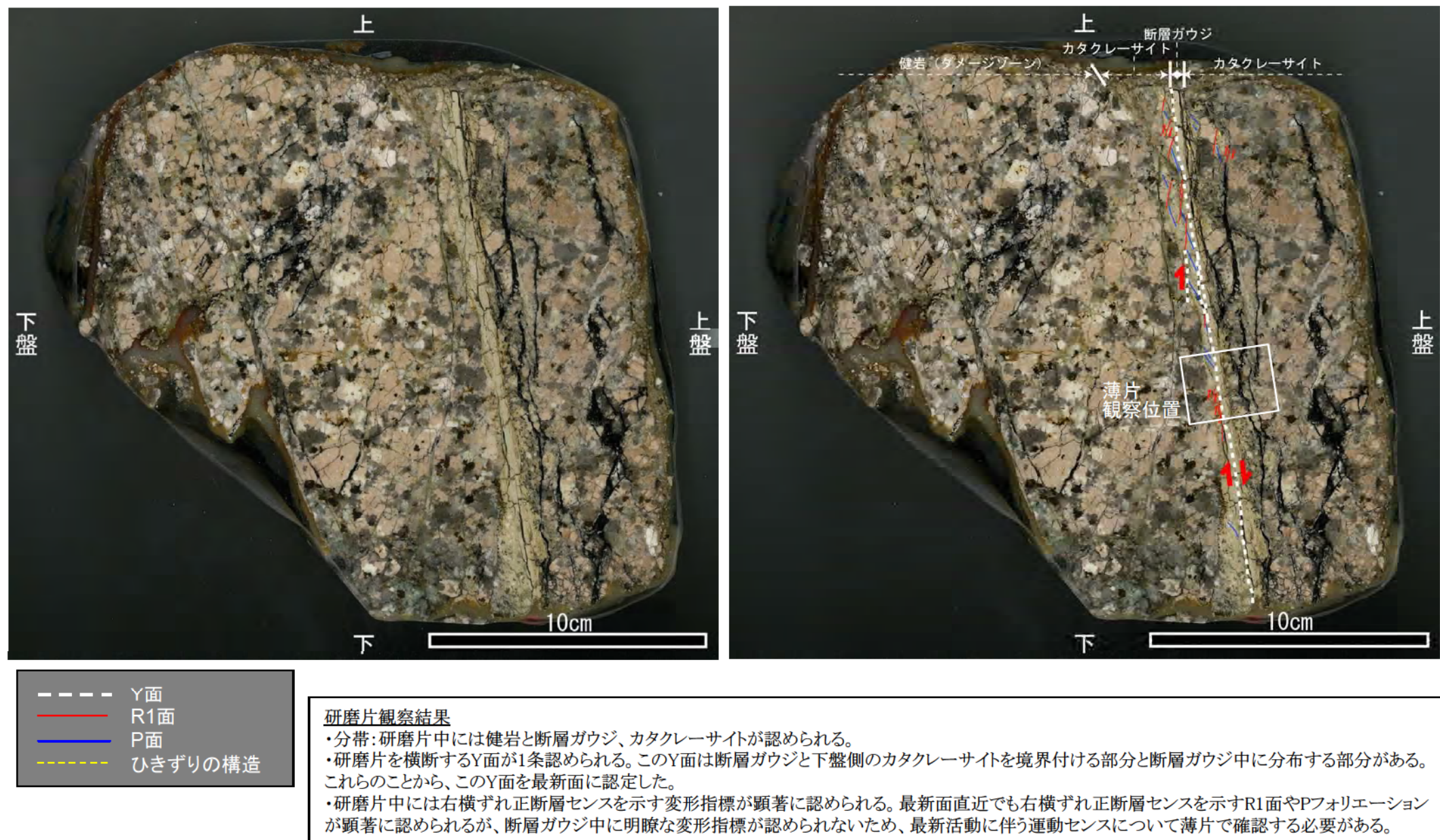
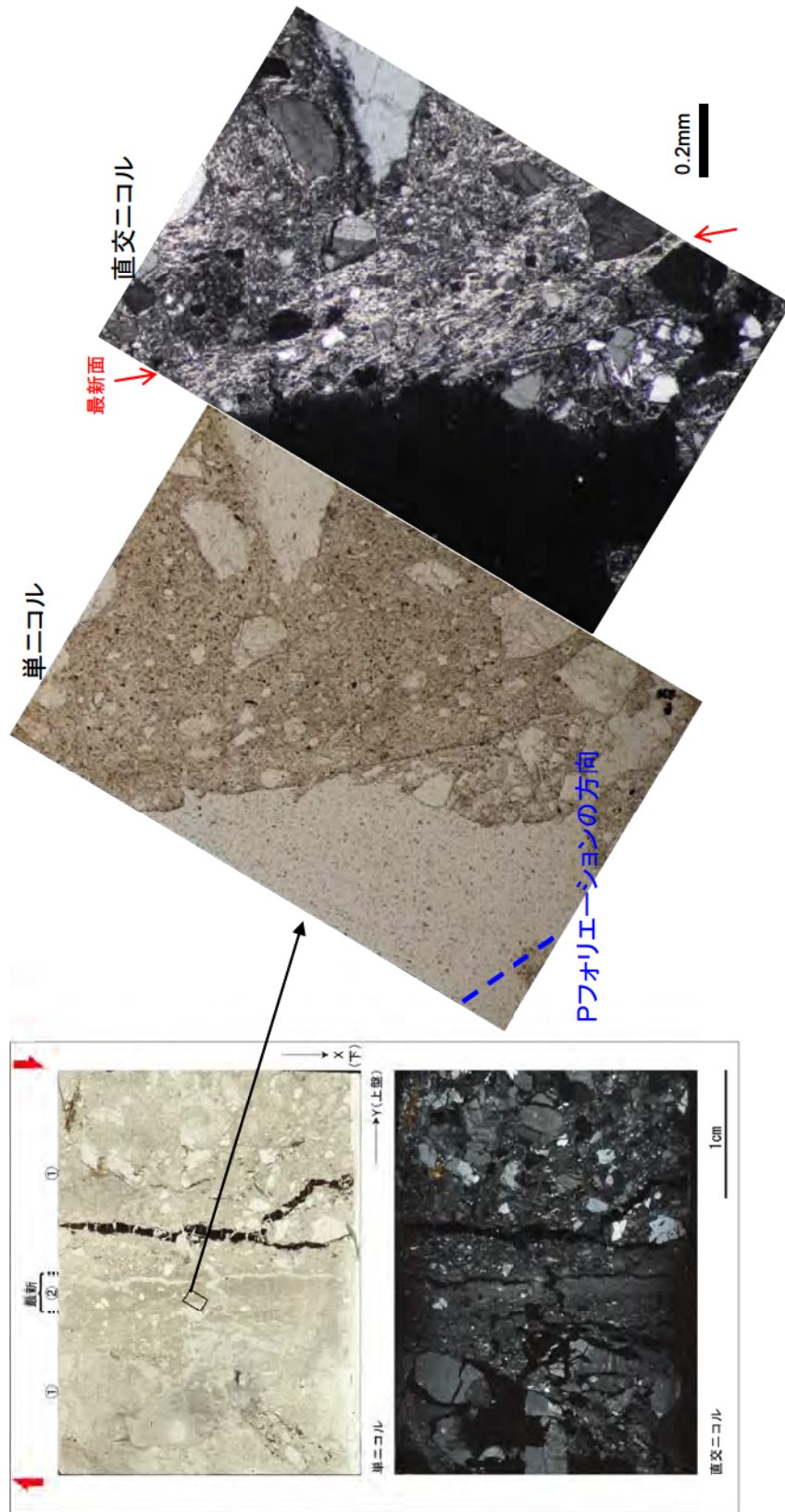




第 1. 4. 76 図 L-6 リニアメント b 地点の破碎部 ブロック試料の C T 画像観察結果及び条線観察結果 (Loc. L6-1)



第 1. 4. 77 図 L-6 リニアメント b 地点の破碎部 ブロック試料の研磨片観察結果 (Loc. L6-1)



最新面に沿って粘土鉱物が網目状に発達し、最新面が不明瞭になっている。
最新面に沿って右横ずれ正断層セシスを示すPフォリエーションが認められる。

薄片観察結果

- ・分帯: ①断層角礫帯(フラグメント)は②近傍ほど細粒で、薄片両端ほど粗粒になる。さらに薄片左端では、ほとんど破碎していない斑晶が認められる。②断層ガウジ
- ・薄片右側(上盤側)の①には不透明鉱物が認められる。薄片を横断するY面が1条認められる。このY面は、主に薄片左側(下盤側)の①と②を境界付け、一部で②中を通過する。このことから、このY面を最新面に認定した。最新面に沿って粘土鉱物が網目状に発達し、最新面が不明瞭になっている。①と②中には右横ずれ正断層セシスを示す変形指標が認められる。層状構造は認められない。
- ・①: フラグメントは石英や斜長石、カリ長石、黒雲母からなり、斜長石の多くはセリサイトを伴う。マトリックスは主に細粒碎屑物からなる。
- ・②: フラグメントは石英や斜長石、カリ長石からなり、斜長石の多くはセリサイトを伴う。マトリックスは細粒粘土鉱物と細粒碎屑物からなる。

第 1.4.78 図 L-6 リアメント b 地点の破砕部 ブロック試料の薄片観察結果 (Loc. L6-1)



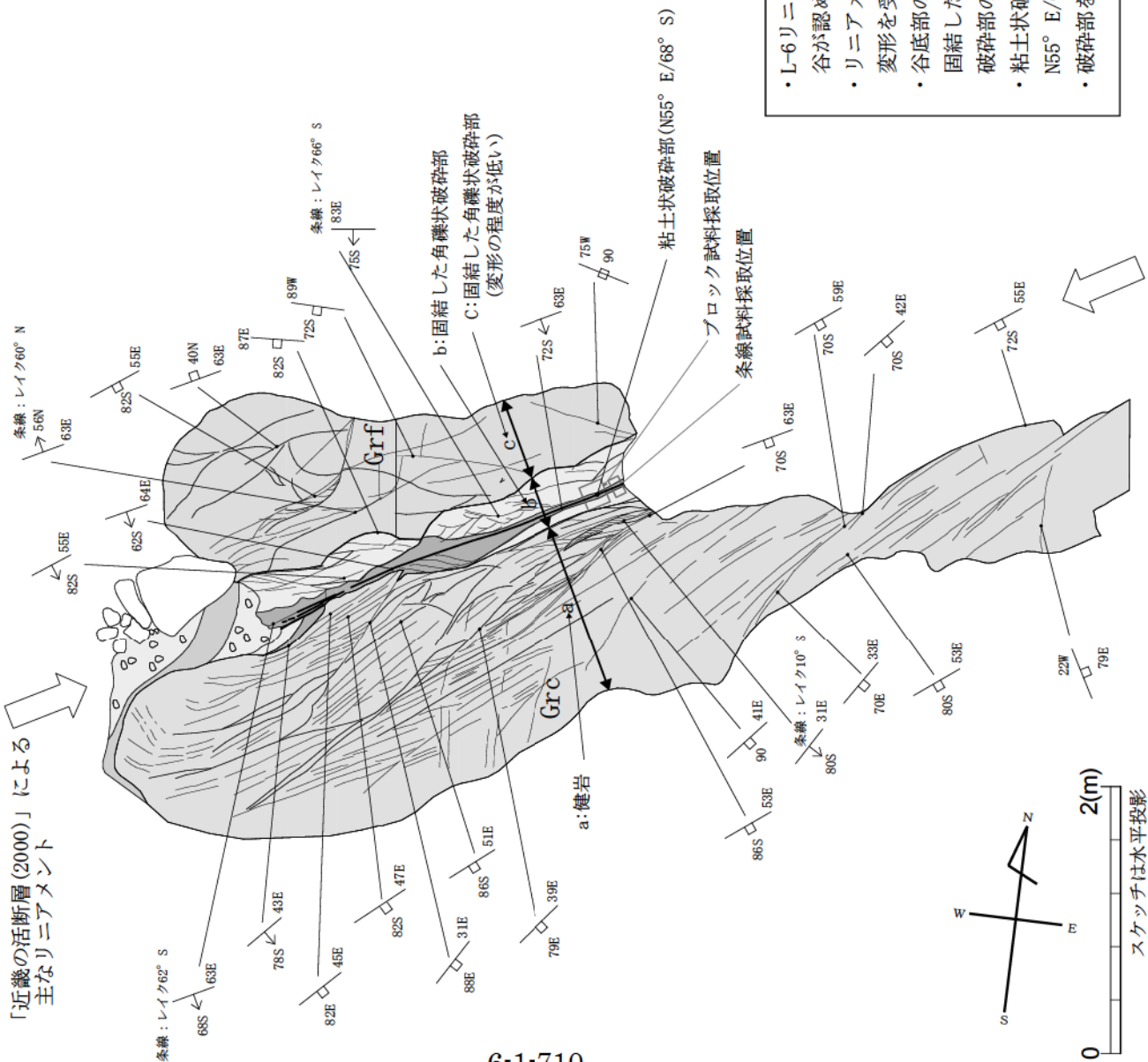
健岩	↔
固結した角礫状破砕部(弱変形)	↔
固結した角礫状破砕部	↔
粘土状破砕部	↔



- 破砕幅: 1.5m以上
- 粘土状破砕部 (幅1cm~1.5cm)
 - 固結した角礫状破砕部 (上盤側: 幅10cm~30cm、下盤側: 幅20cm~40cm)
 - 固結した角礫状破砕部(弱変形) (幅80cm以上)

第 1. 4. 79 図 L-6 リニアメント g 地点の露頭写真 (Loc. L6-2)

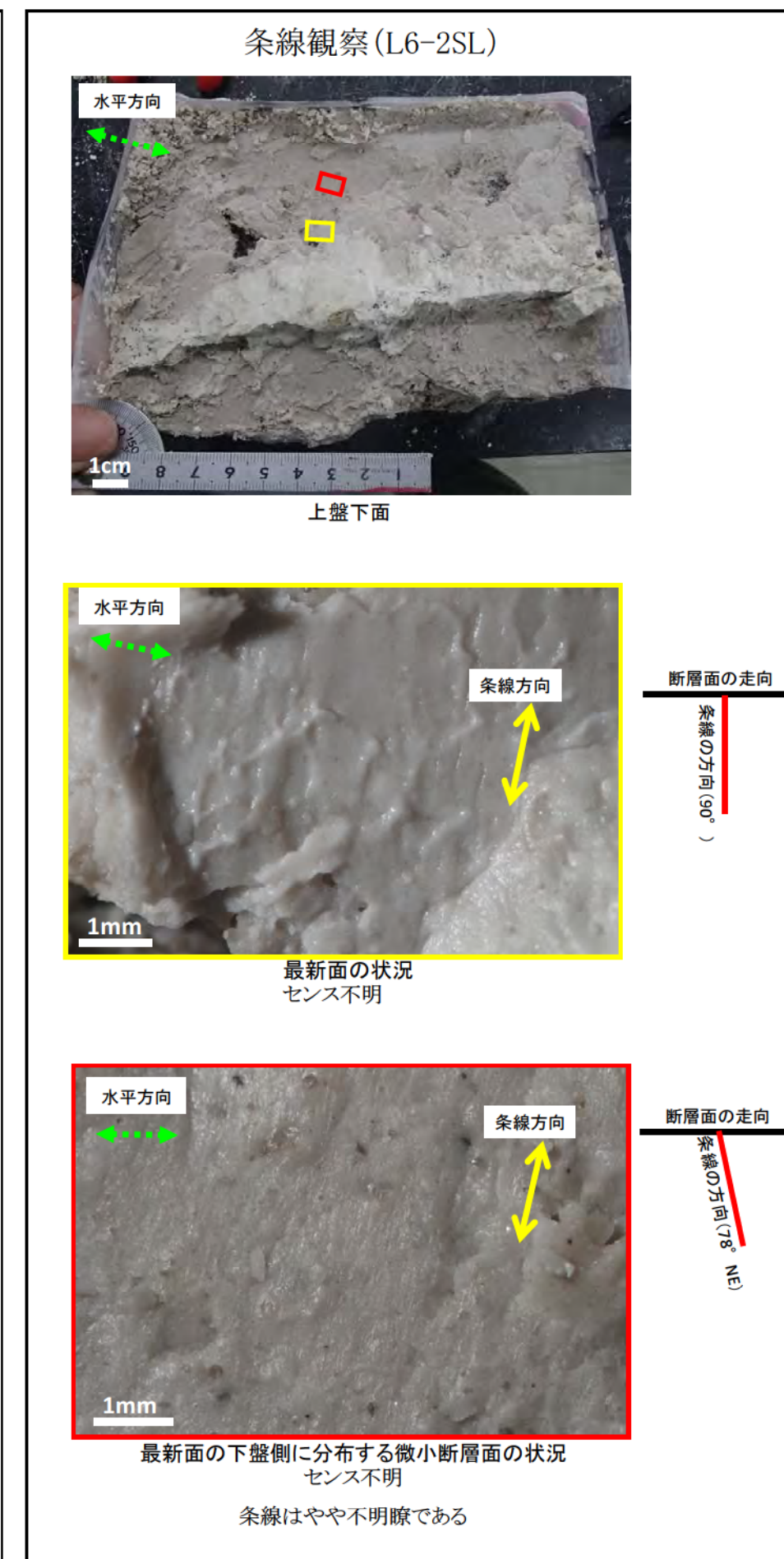
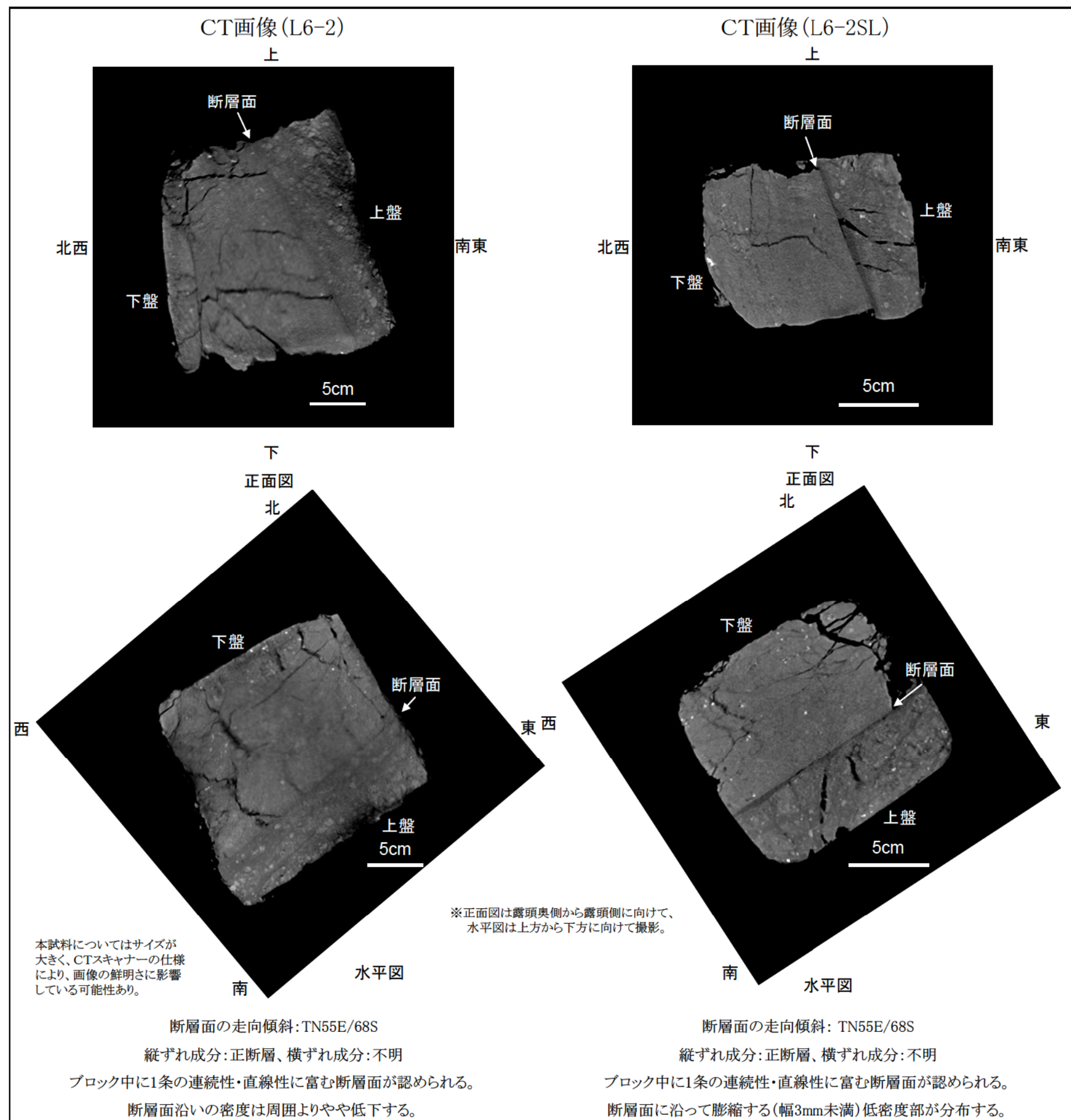
「近畿の活断層(2000)」による
主なりニアメント



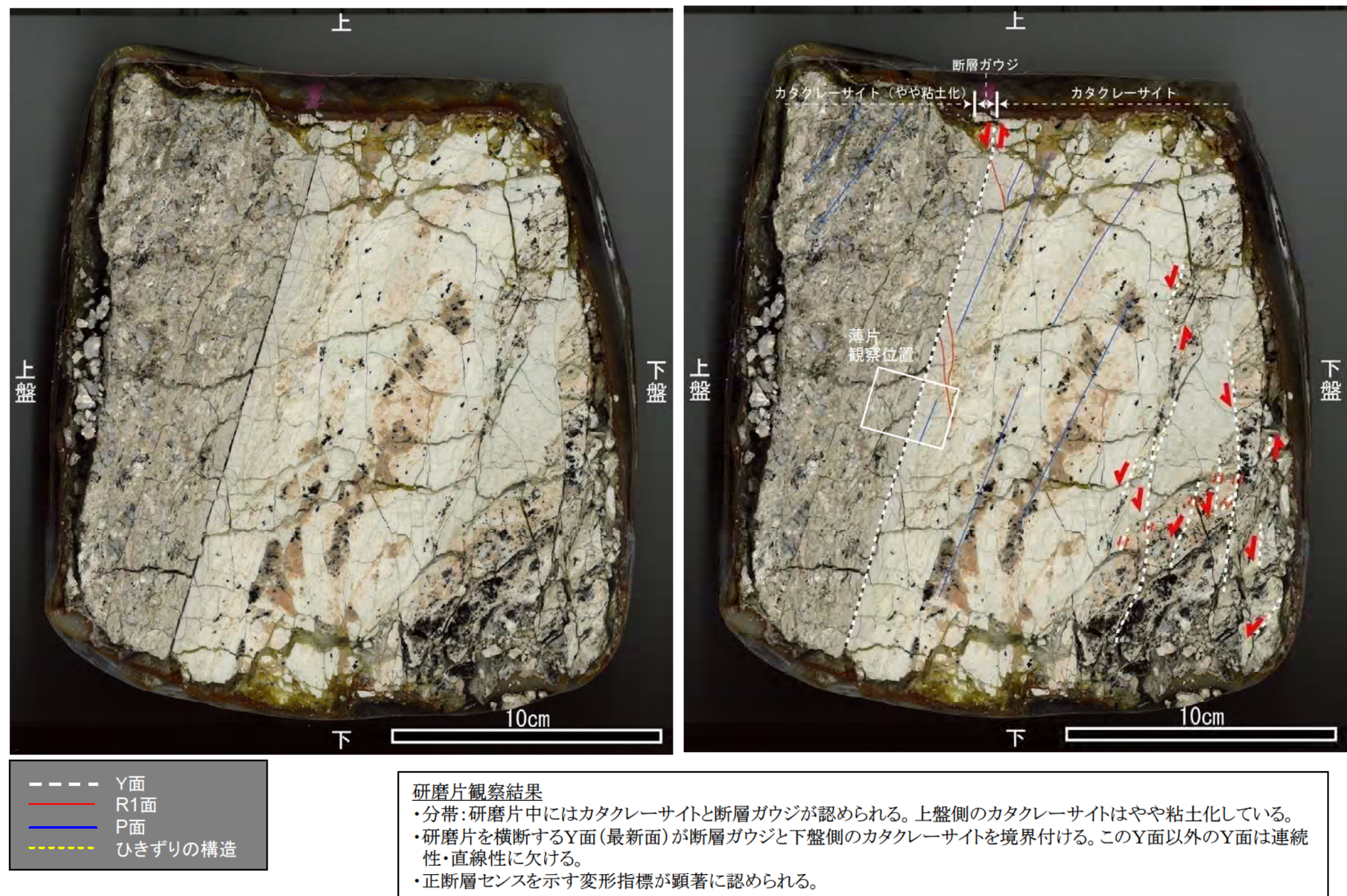
6-1-710

- ・L-6リニアメント a 地点の南東方約300mでは、東北東-西西南西方向の直線性の良い谷が認められ、「近畿の活断層(2000)」による主なりニアメントが通過する。
- ・リニアメントが通過する谷の右岸には粗粒黒雲母花崗岩の健岩が、左岸には弱く変形を受け固結した角礫状を呈する細粒黒雲母花崗岩が露出する。
- ・谷底部の粗粒黒雲母花崗岩と細粒黒雲母花崗岩の境界に断層が認められ、固結した角礫状破砕部に幅1.0cm~1.5cmの粘土状破砕部が挟在する。
- ・破砕部の幅は1.5m以上である。
- ・粘土状破砕部中には、幅数mmの軟質な粘土が挟在している。その走向・傾斜は、N55° E/68° Sを示す。
- ・破砕部を覆う堆積層に変位は認められない。

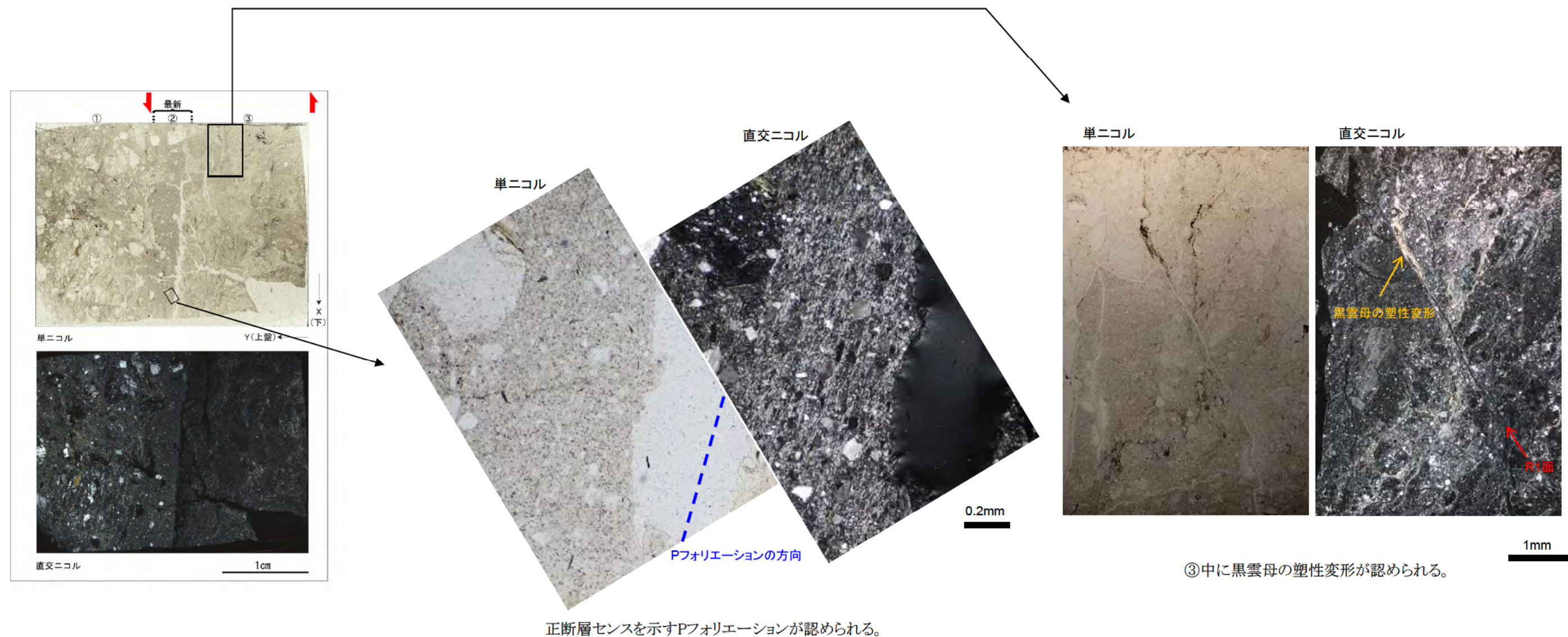
第1.4.80図 L-6リニアメントg地点の露頭スケッチ (Loc. L6-2)



第 1.4.81 図 L-6 リニアメント g 地点の破碎部 ブロック試料のCT画像観察結果及び条線観察結果 (Loc. L6-2)

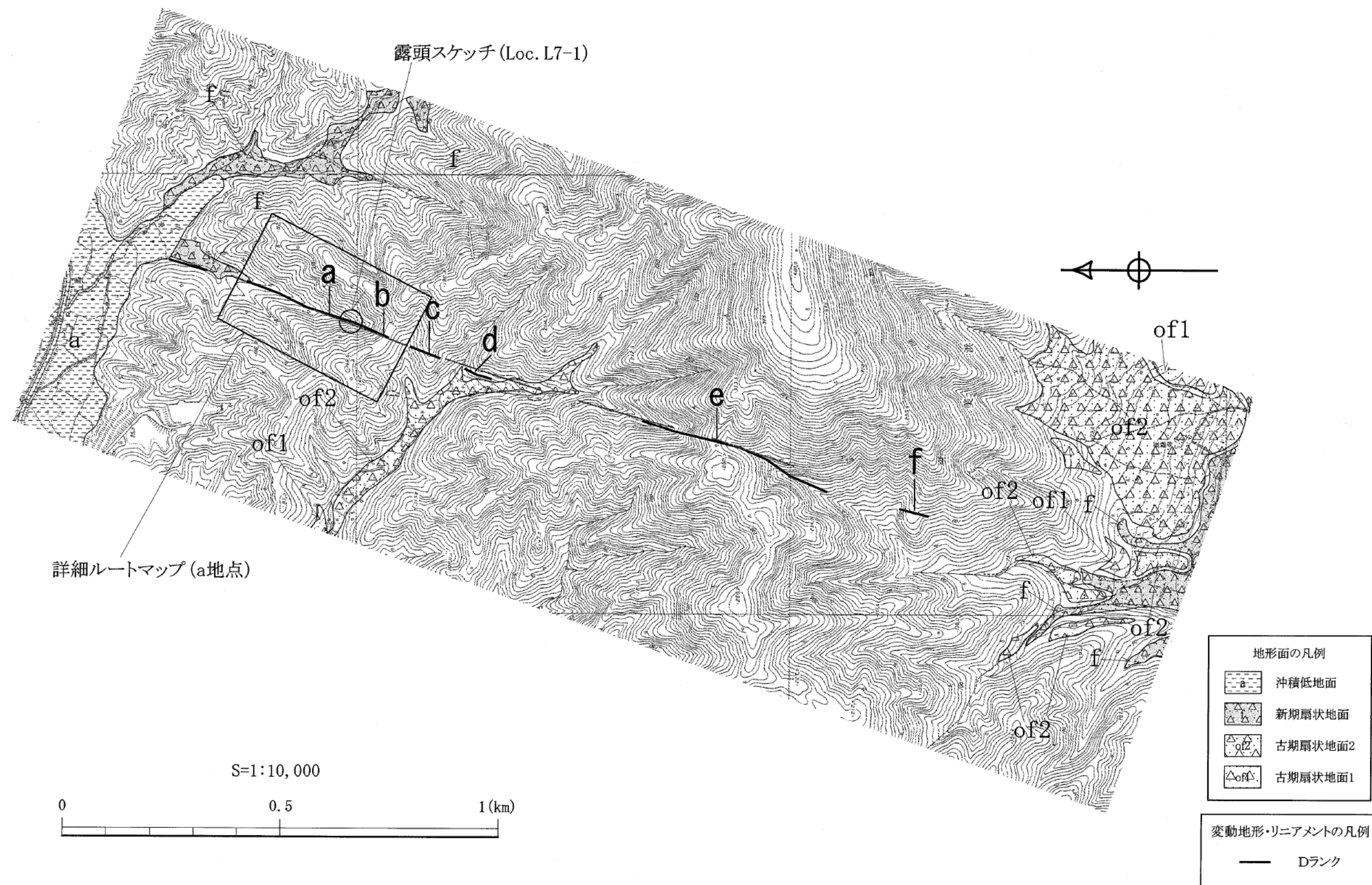


第 1.4.82 図 L-6 リニアメント g 地点の破砕部 ブロック試料の研磨片観察結果 (Loc. L6-2)

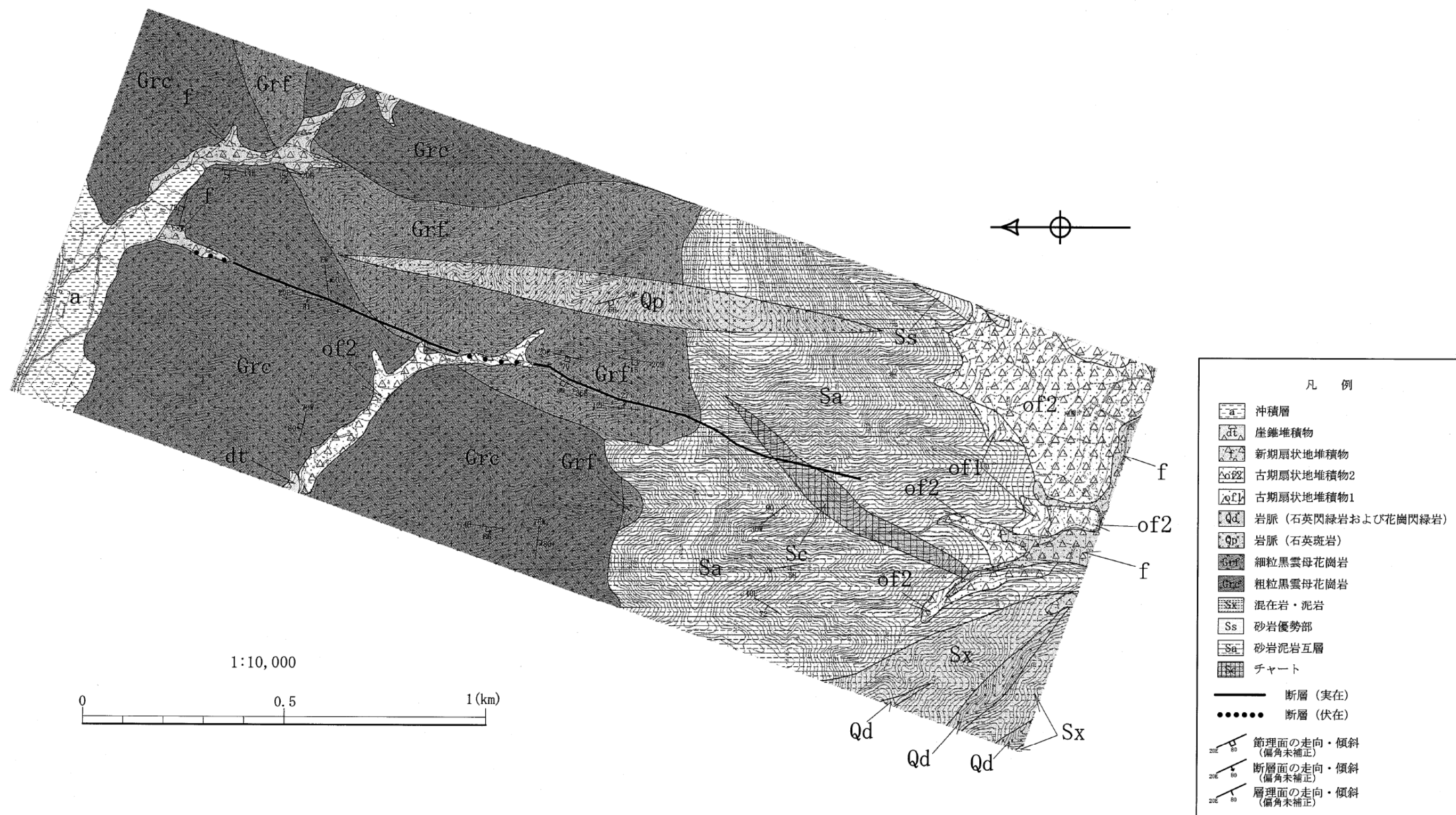


薄片観察結果

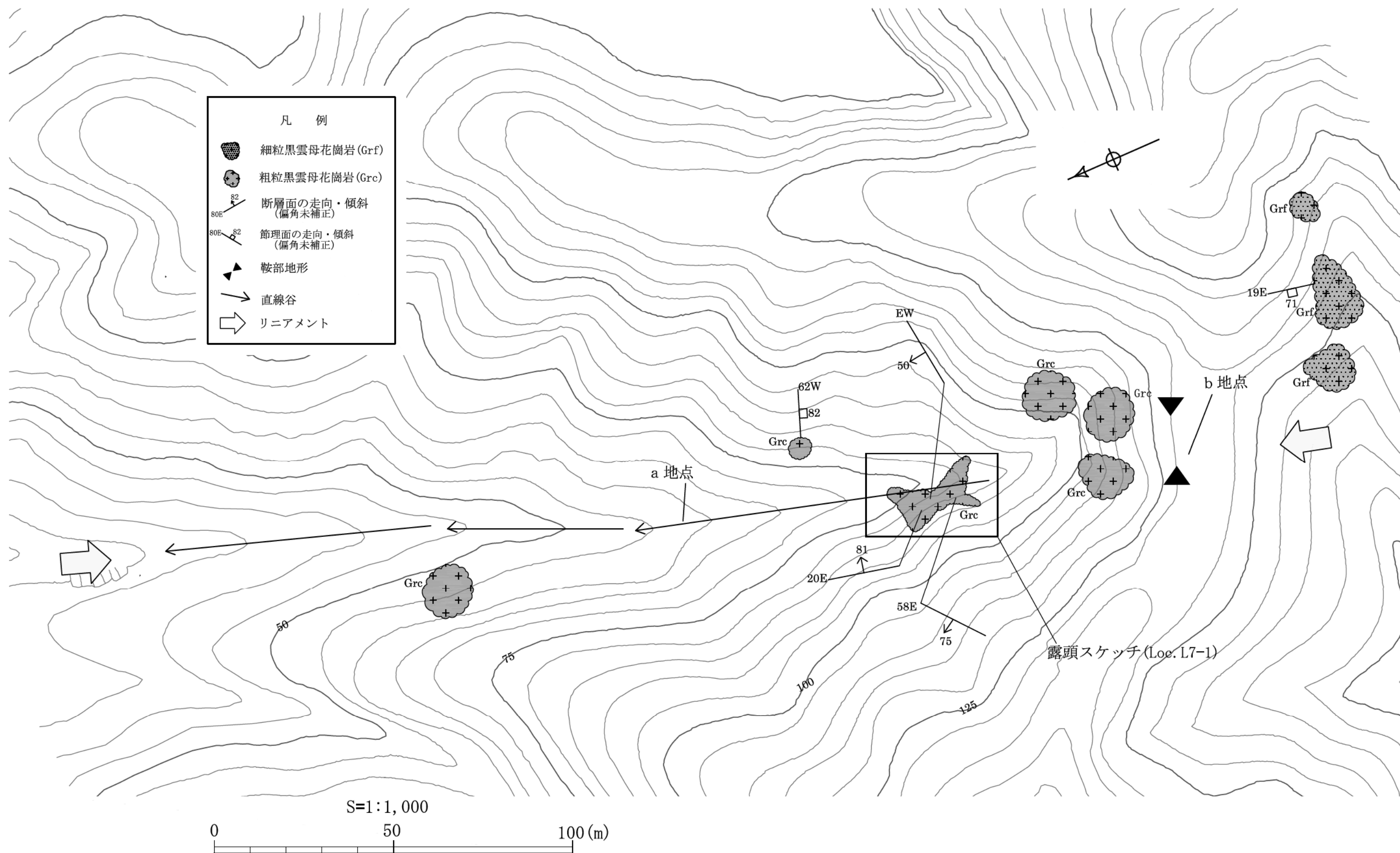
- ・分帯:①カタクレサイト(中～粗粒フラグメント)、②断層ガウジ、③フォリエーティッドカタクレサイト(細～中粒フラグメント)。
- ・分帯はテクスチャーに基づく。
- ・薄片を横断するY面は②と③の境界に認められる。このY面は薄片作成時に開口しているため、粘土鉱物との関係は不明である。②と③には正断層センスを示す変形指標が認められる。層状構造は認められない。
- ・①:フラグメントは主に石英、カリ長石、黒雲母からなり、一部でセリサイトを含む。黒雲母は緑泥石化や、塑性変形しているものが認められる。石英にはポリクウォーツ化や波動消光が認められる。マトリックスは細粒碎屑物からなり、軽微な変質・粘土化により、セリサイトが晶出している。破碎流動が顕著に認められる。
- ・②:フラグメントは主に石英、カリ長石、黒雲母からなり、カタクレサイト起源のフラグメントも認められる。マトリックスは細粒碎屑物や細粒の粘土鉱物からなる。
- ・③:フラグメントは主に石英、カリ長石、黒雲母からなる。黒雲母は緑泥石化や、塑性変形しているものが認められる。石英にはポリクウォーツ化や波動消光が認められる。マトリックスは細粒碎屑物からなり、顕著な変質・粘土化は認められない。破碎流動が認められる。



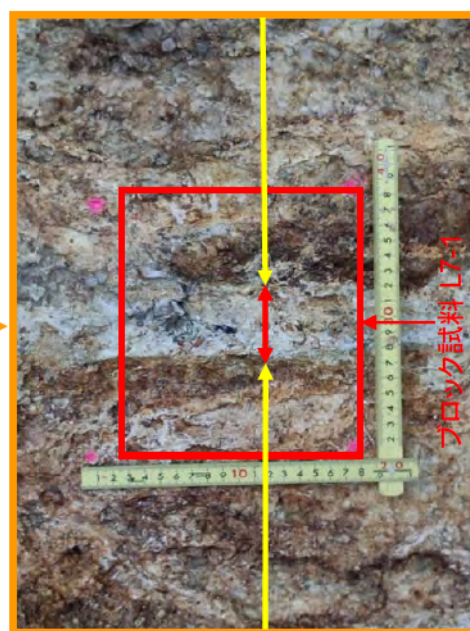
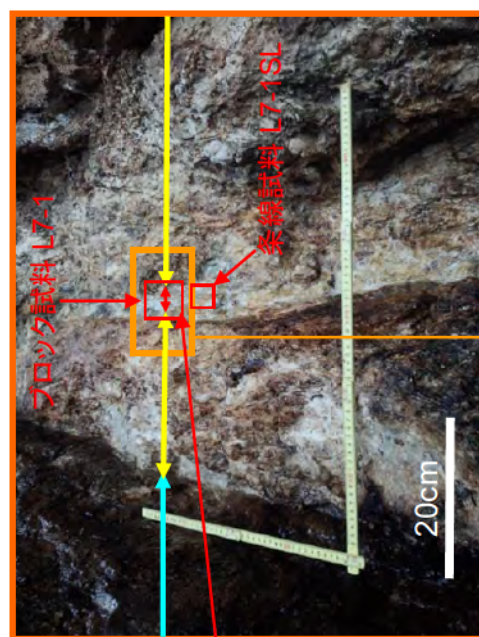
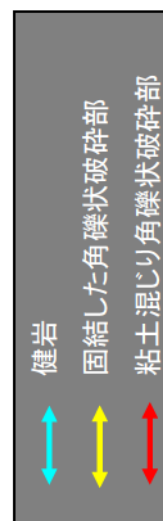
第1.4.84図 L-7リニアメント周辺の地形調査結果



第1.4.85図 L-7リニアメント周辺の地質図



第1.4.86図 L-7リニアメント詳細ルートマップ (a地点～b地点)

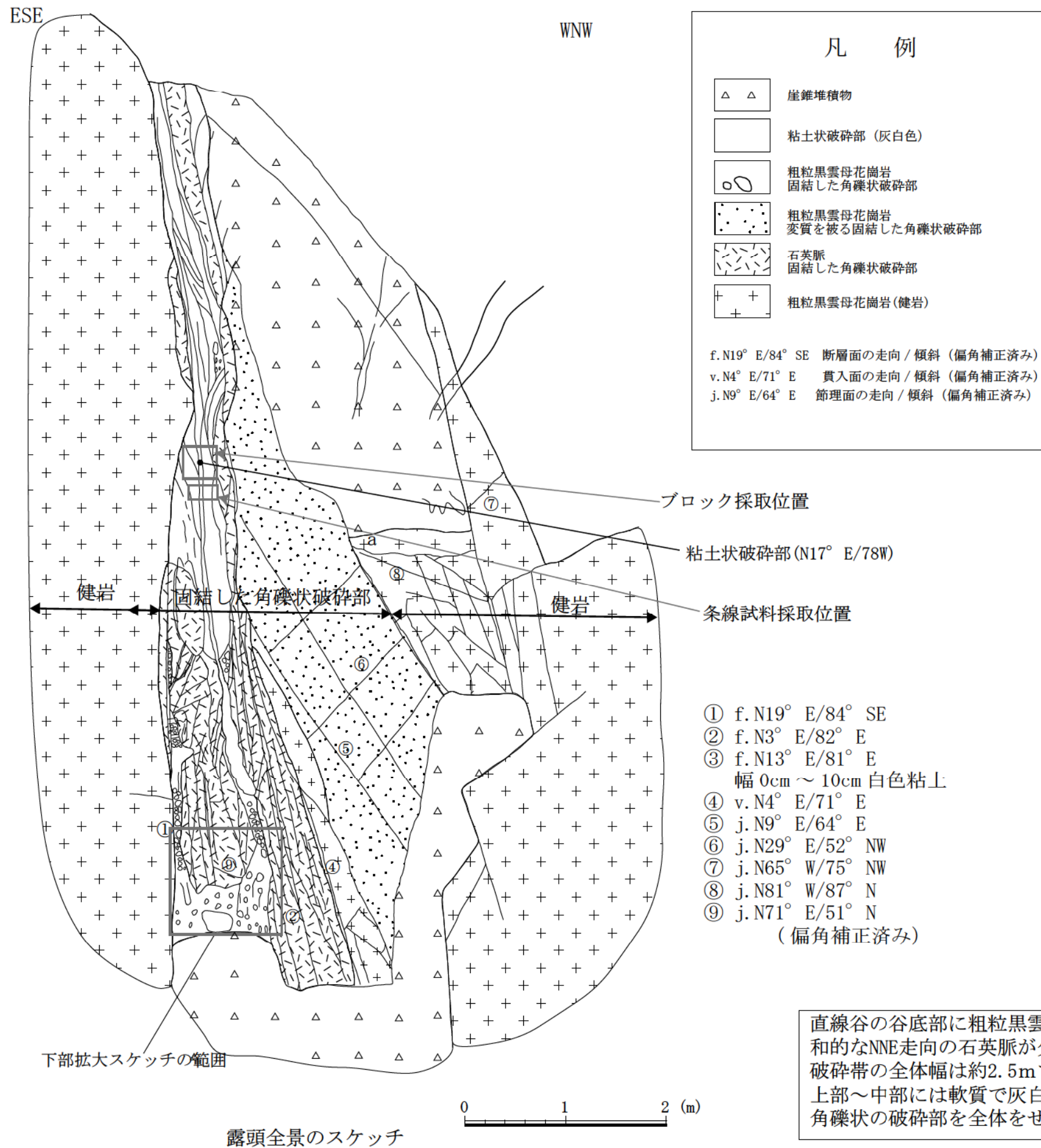


破砕幅: 固結した角礫状破砕部 (幅2.5m程度)

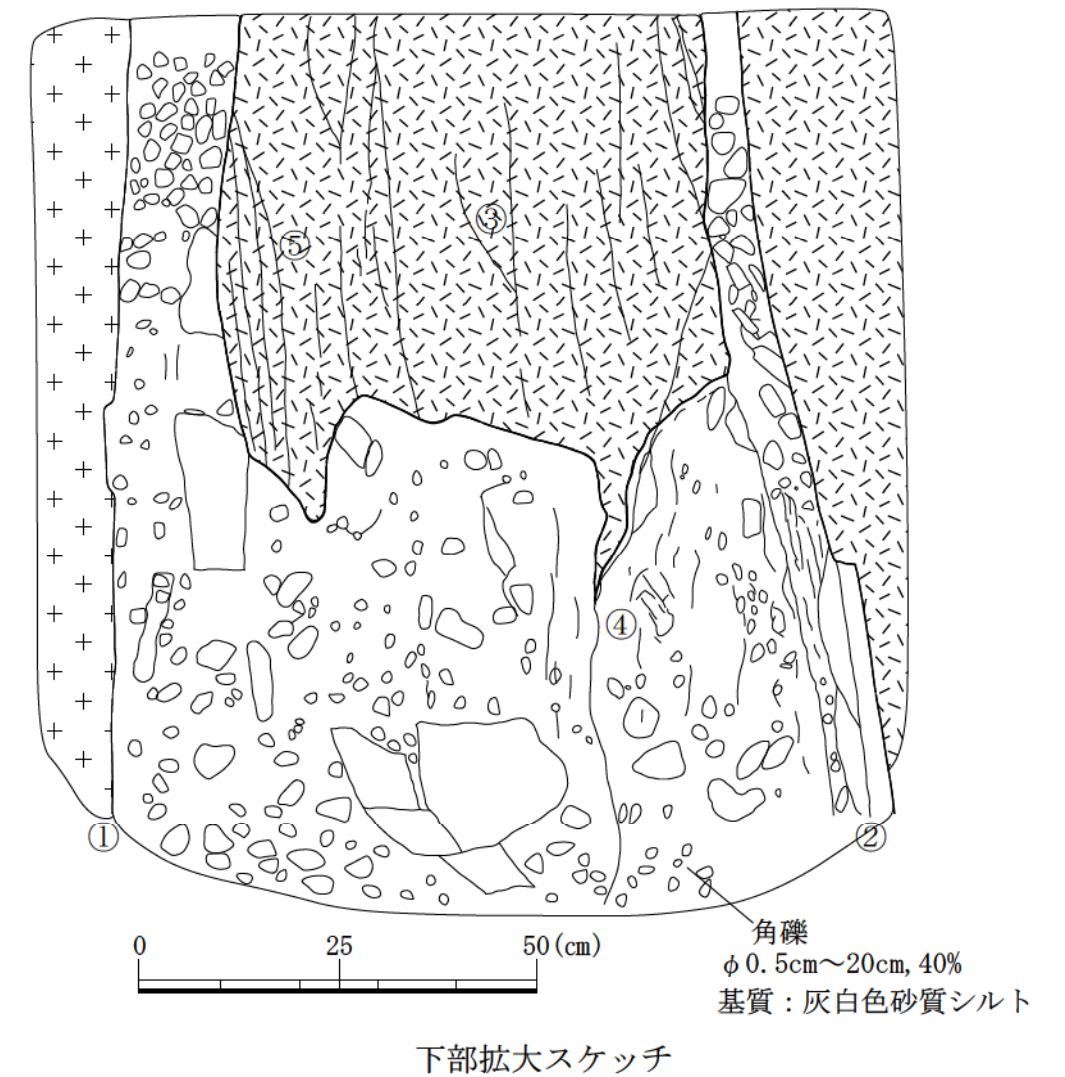
粘土混じり角礫状破砕部 (幅3cm~15cm)

粘土混じり角礫状破砕部は露頭の下部でせん滅する。

第 1.4.87 図 L-7 リニアメント a 地点の露頭写真 (Loc. L7-1)

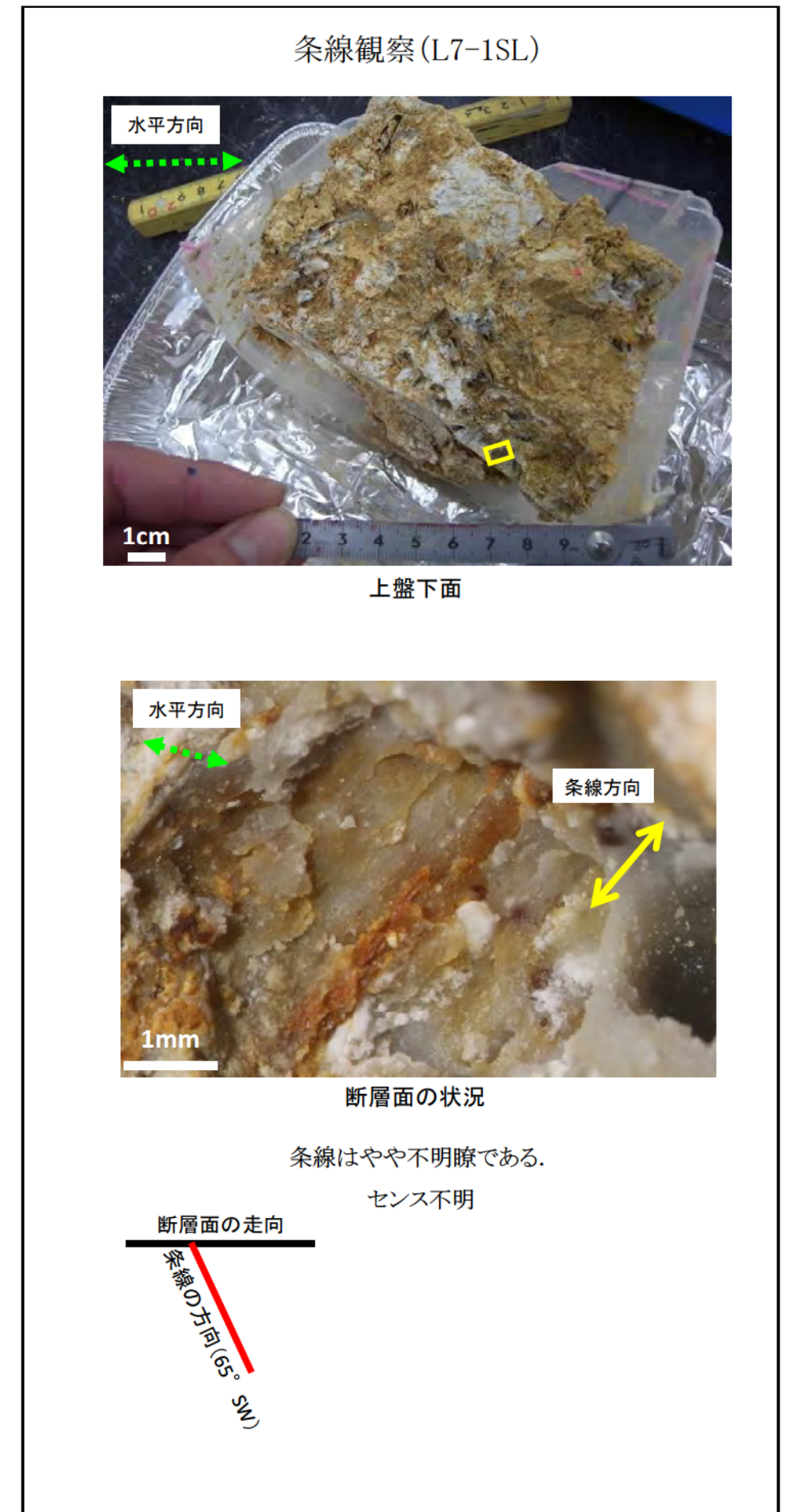
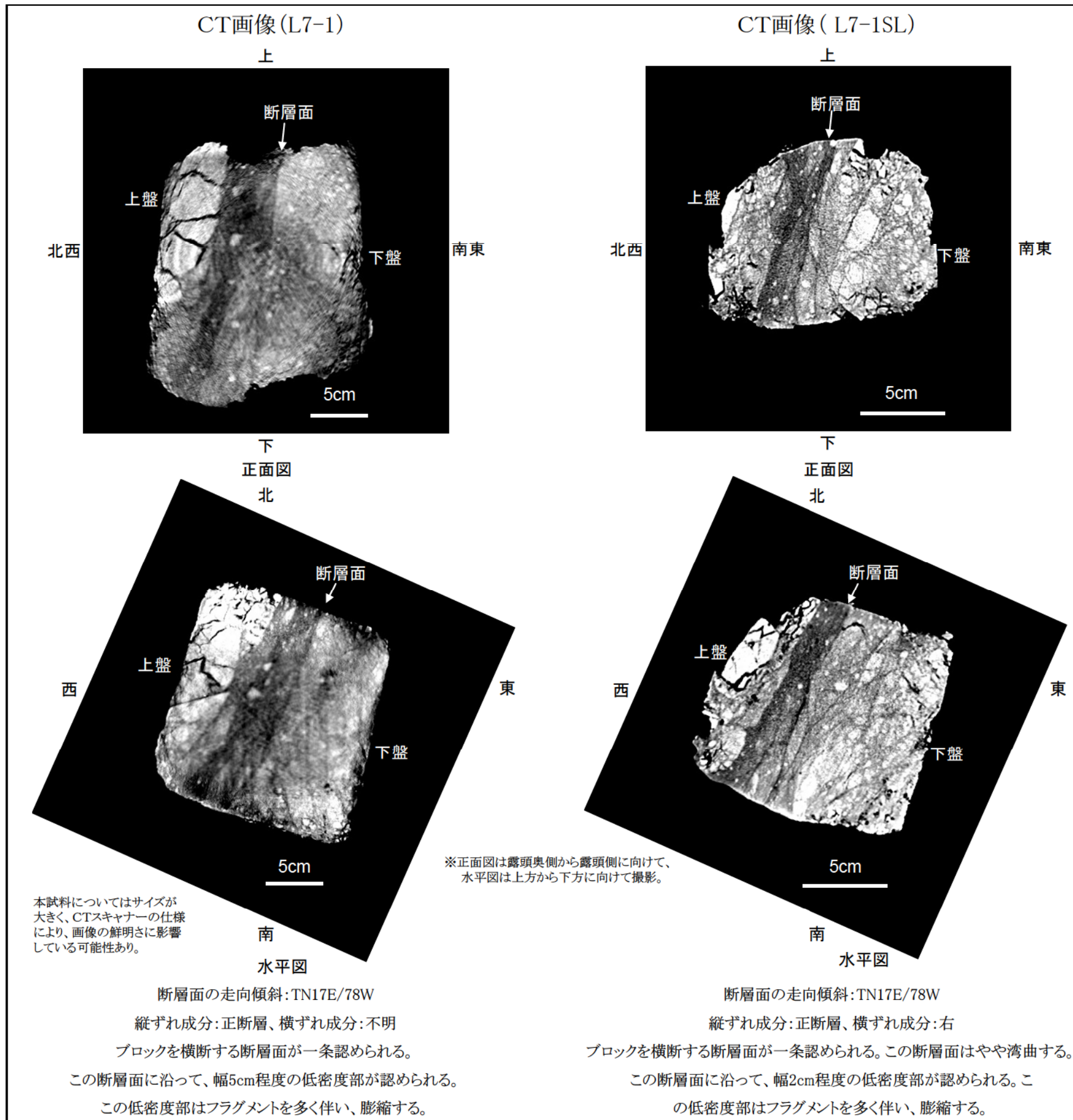


- ① f. N22° E/76° NW
② f. N7° E/73° W
③ j. N88° W/50° N
④ f. N44° E/56° NW
⑤ j. N27° E/79° NW
(偏角補正済み)

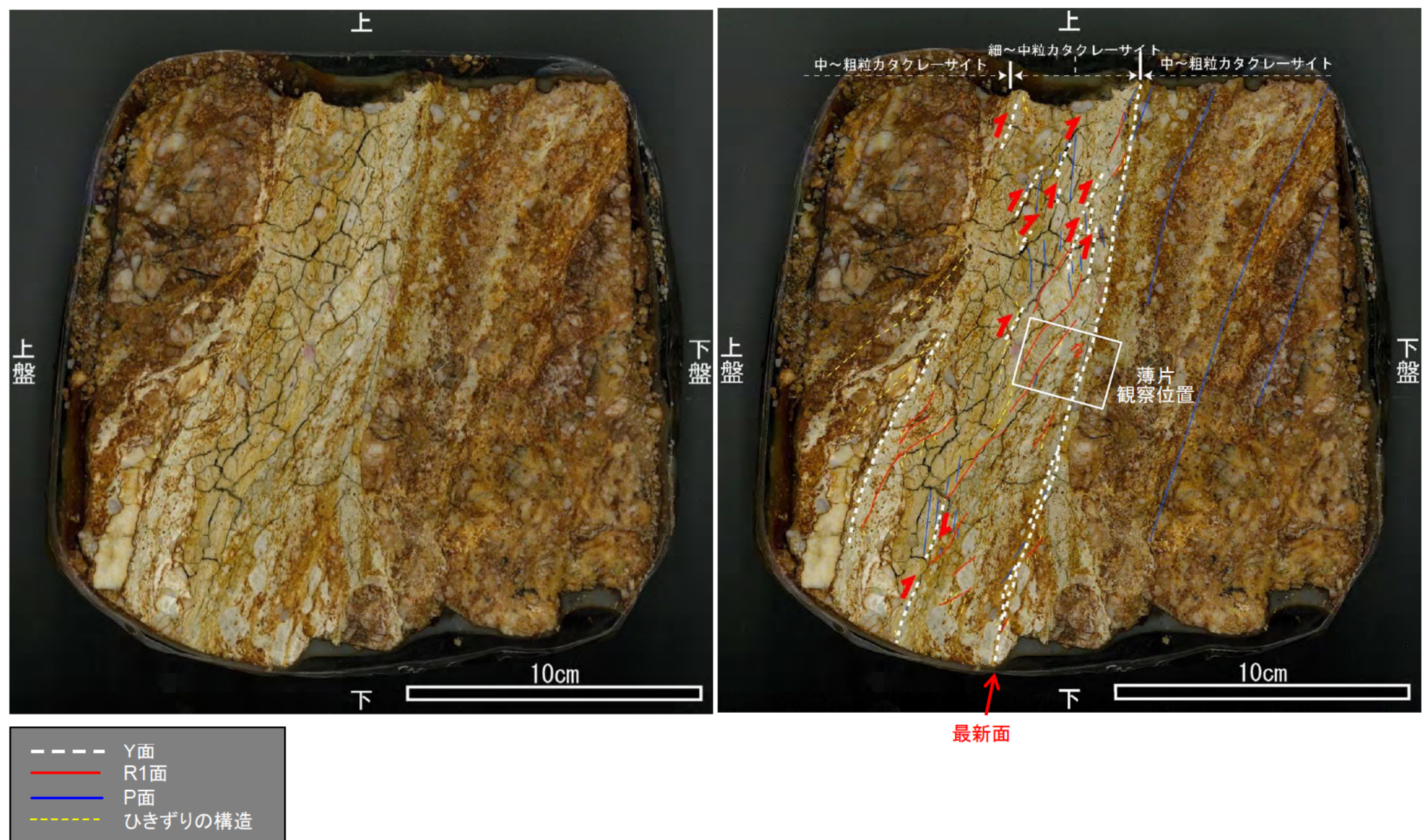


直線谷の谷底部に粗粒黒雲母花崗岩が露頭する。粗粒黒雲母花崗岩中には、リニアメント方向と調和的なNNE走向の石英脈が分布し、石英脈に沿って破碎帯が認められる。破碎帯の全体幅は約2.5mで、石英および変質を被る花崗岩の固結した角礫破碎部からなる。上部～中部には軟質で灰白色を呈する粘土状破碎部を挟むが、露頭下部でせん滅する。角礫状の破碎部を全体をせん断する新期のせん断面は認められない。

第1. 4. 88図 L-7リニアメントa地点の露頭スケッチ (Loc. L7-1)

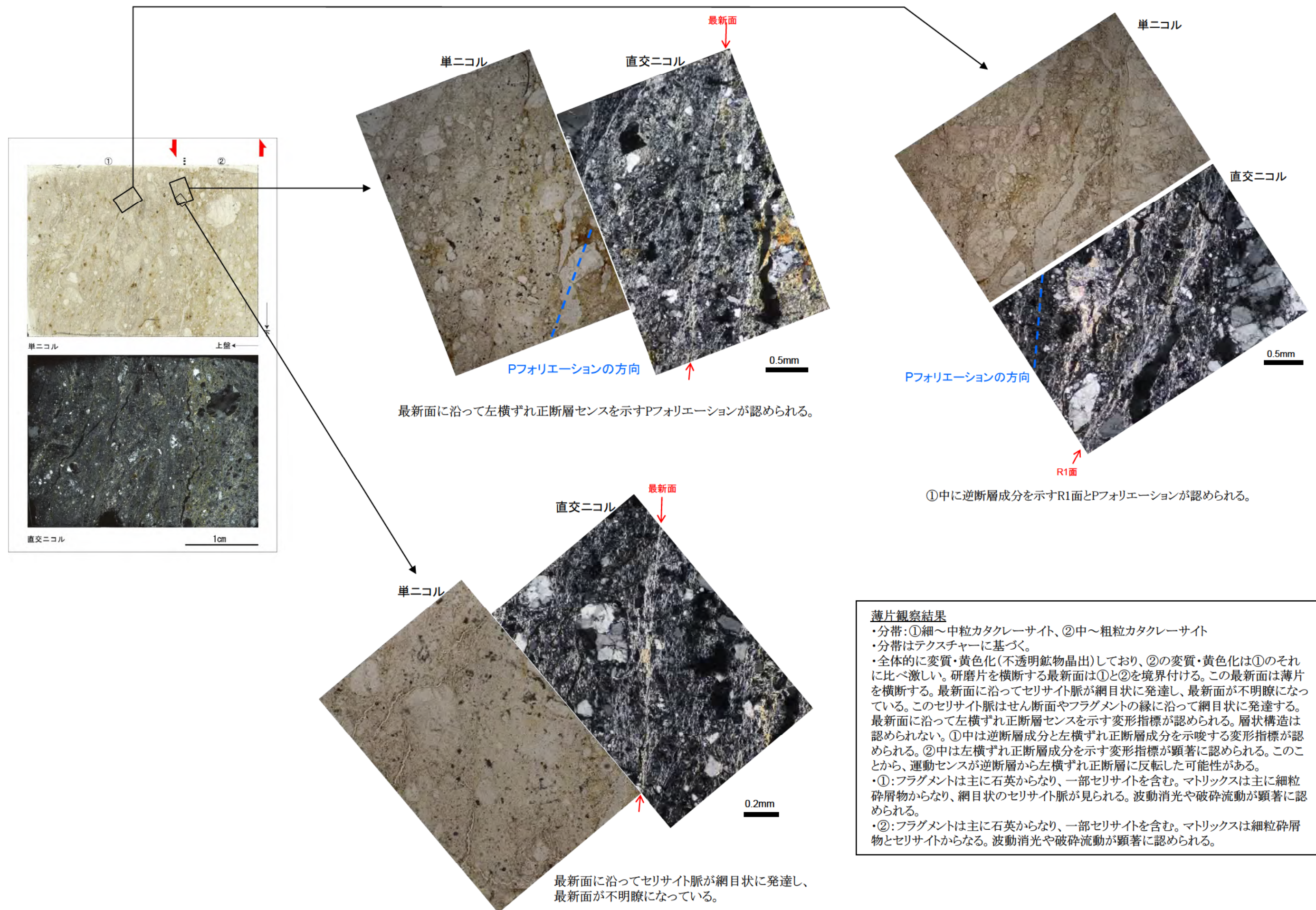


第 1.4.89 図 L-7 リニアメント a 地点の破碎部 ブロック試料の C T 画像観察結果及び条線観察結果 (Loc. L7-1)

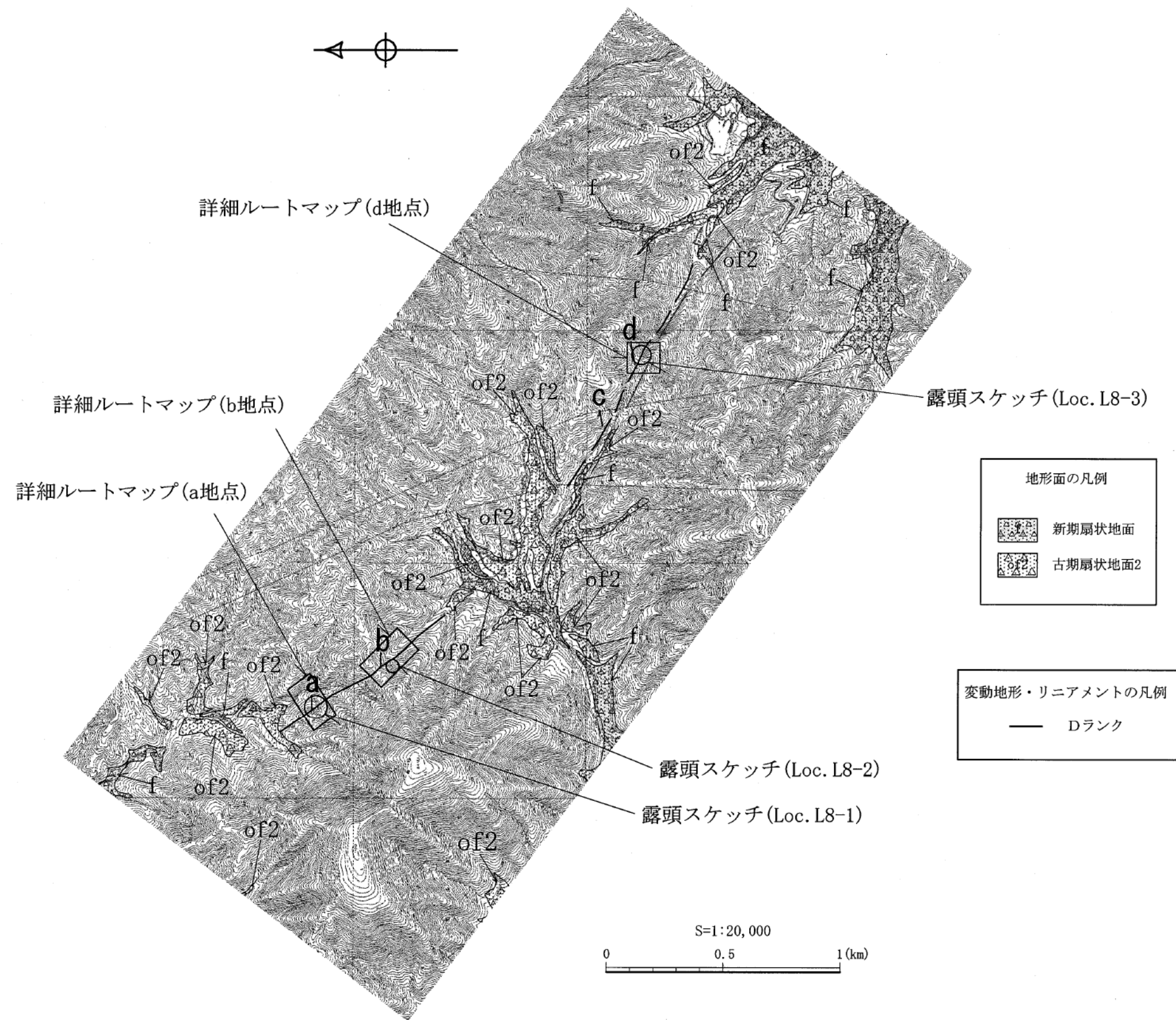


研磨片観察結果

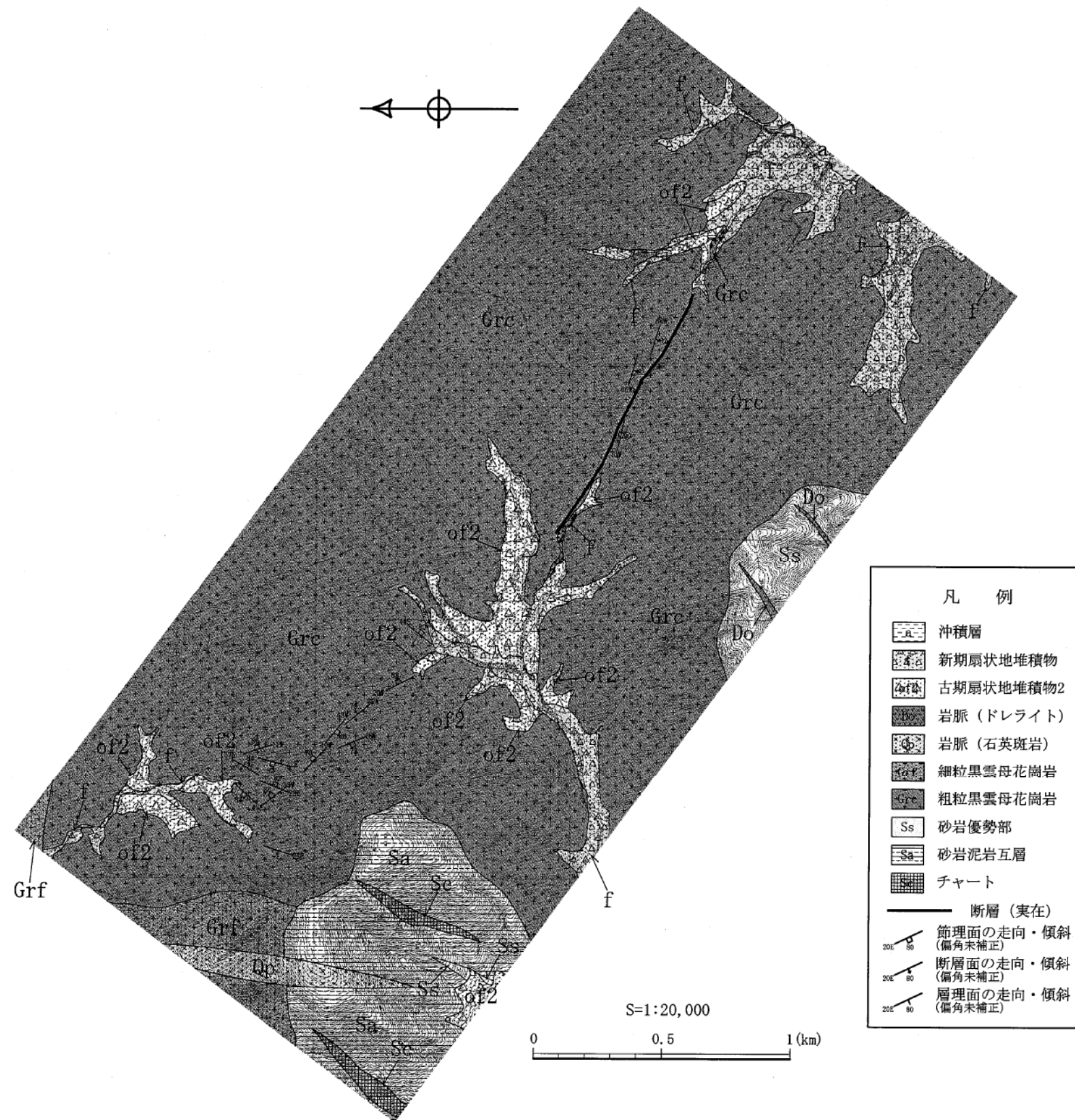
- ・分帯: 研磨片中には中～粗粒カタクレーサイトと細～中粒カタクレーサイトが認められる。
- ・Y面は研磨片中央部の細～中粒カタクレーサイトで多数確認される。認められるY面のうち、研磨片中央部に研磨片を横断するY面が1条認められる(連続性に優れる)。このことから、このY面が最新面であると考えられる。最新面は主に、細～中粒カタクレーサイトと研磨片下盤側の中～粗粒カタクレーサイトを境界付ける。
- ・中～粗粒カタクレーサイト中には左横ずれ正断層センスを示す変形指標が顕著に認められる。細～中粒カタクレーサイトには右横ずれ逆断層センスと左横ずれ正断層センスを示す変形指標が混在する(右横ずれ逆断層センスを示す変形指標が顕著に認められる)。最新面近傍には右横ずれ逆断層センスと左横ずれ正断層センスを示す変形指標があるため、研磨片では最新活動の運動センスは不明である。



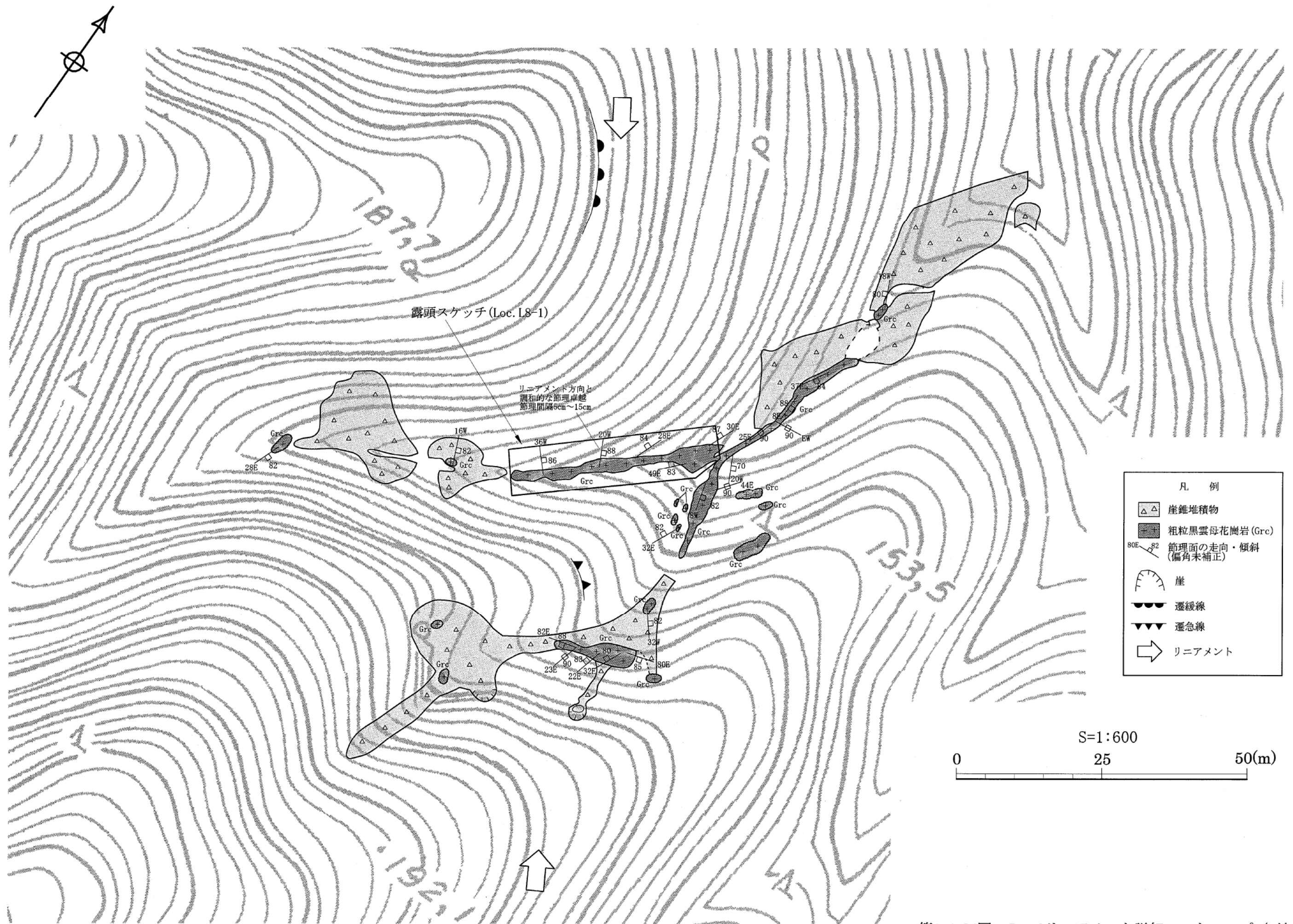
第 1. 4. 91 図 L-7 リニアメント a 地点の破碎部 ブロック試料の薄片観察結果 (Loc. L7-1)



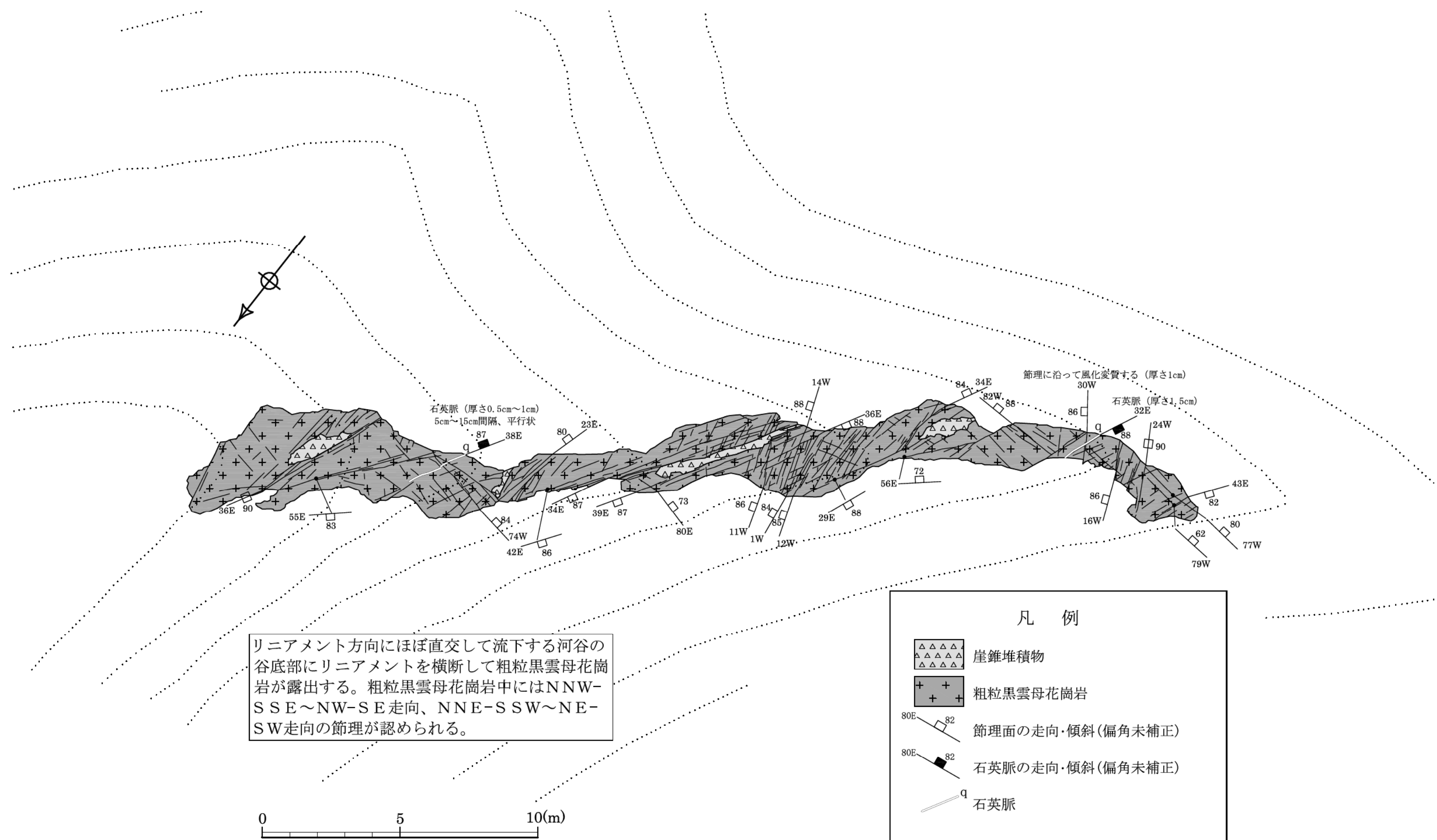
第1. 4. 92図 L-8リニアメント周辺の地形調査結果



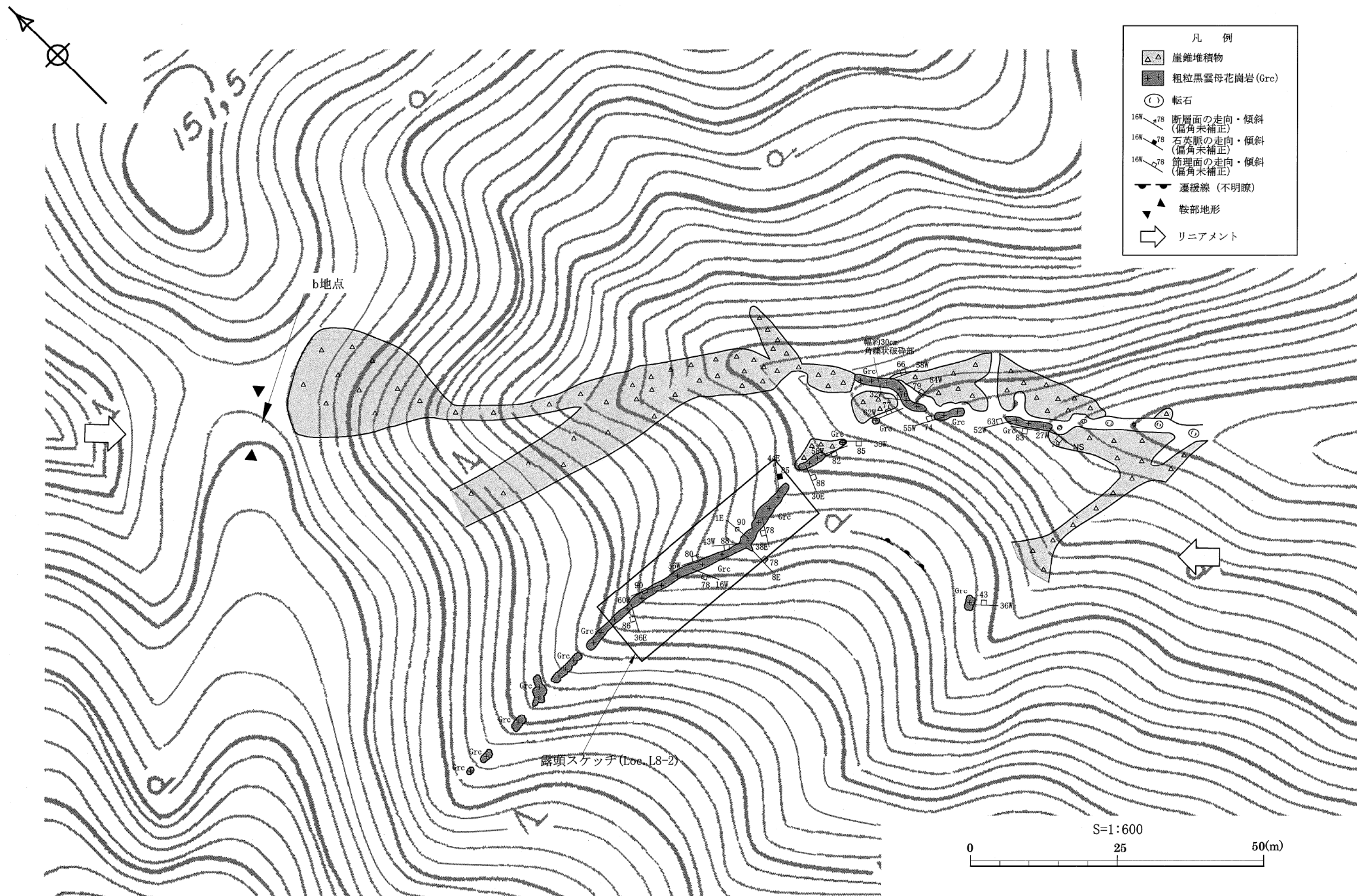
第1.4.93図 L-8リニアメント周辺の地質図



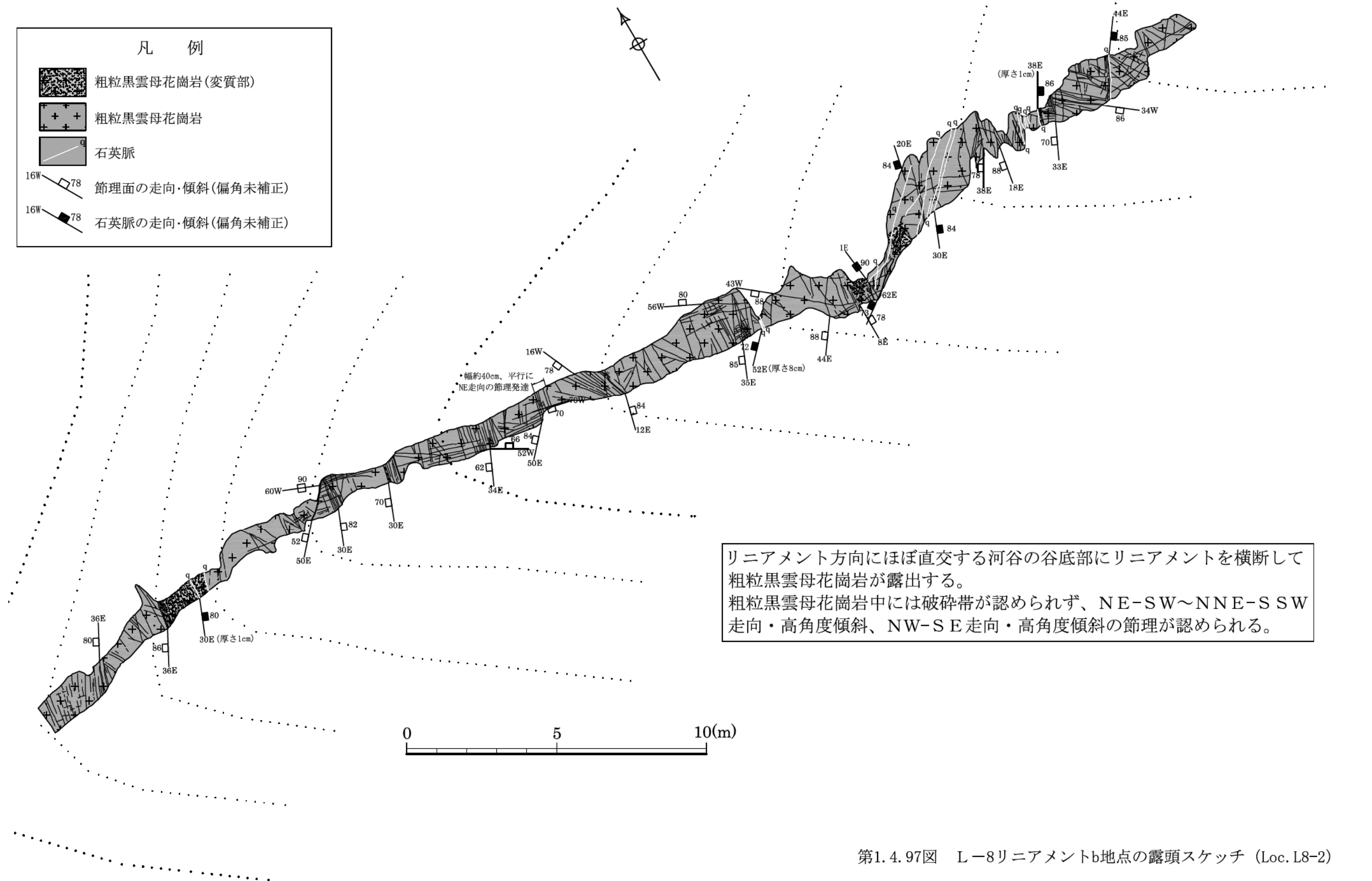
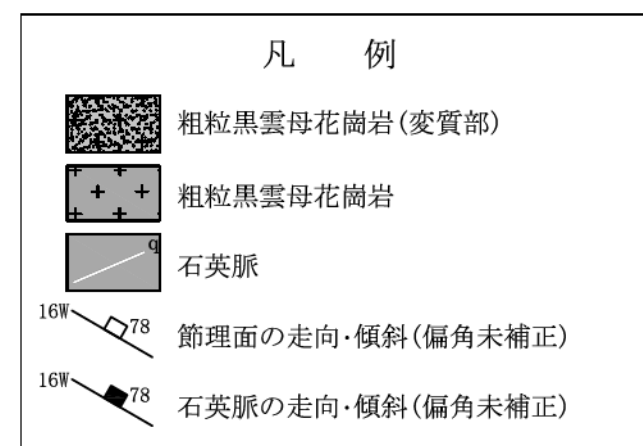
第1.4.94図 L-8リニアメント詳細ルートマップ (a地点)



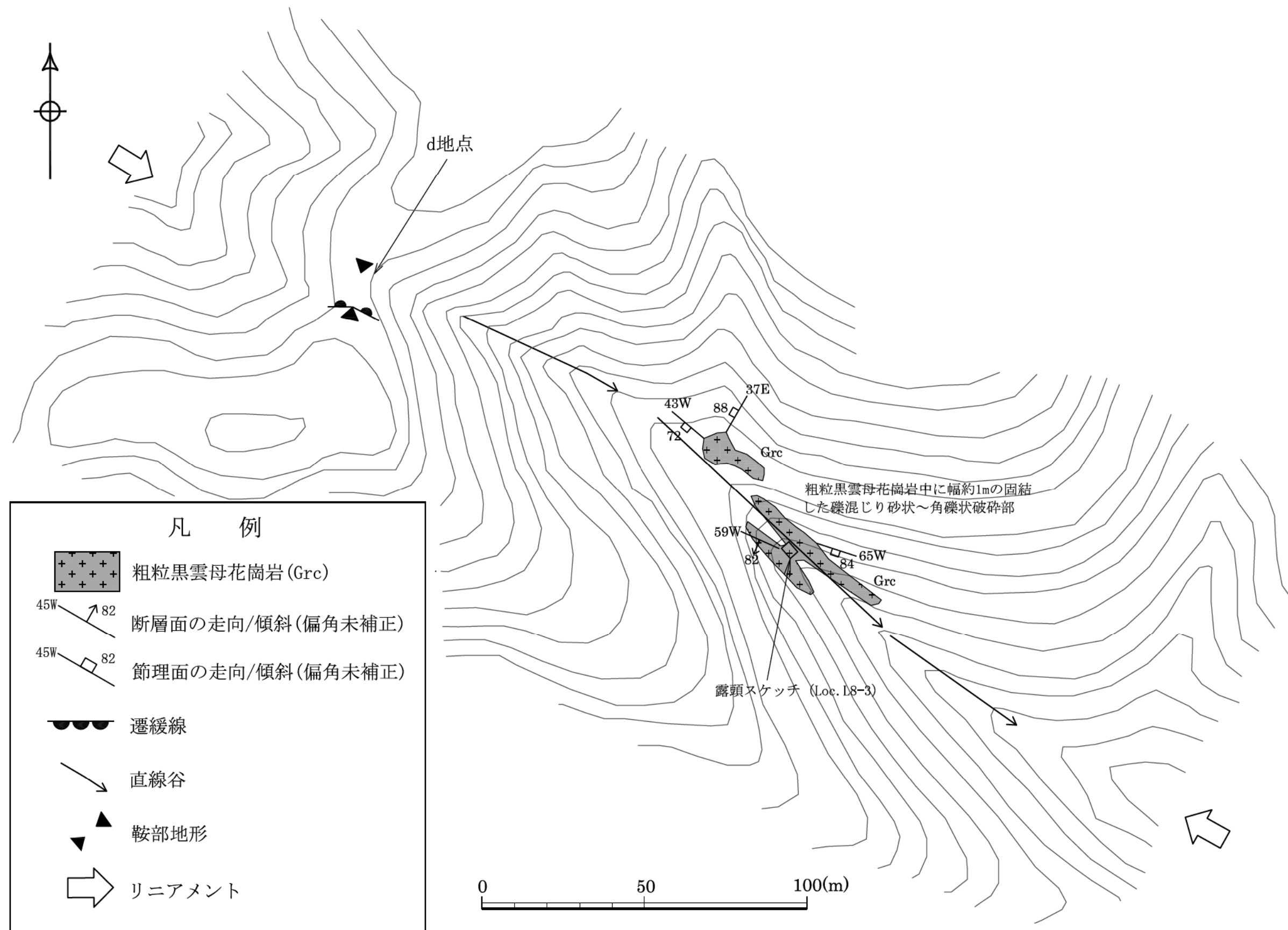
第1.4.95図 L-8リニアメントa地点の露頭スケッチ (Loc. L8-1)



第1.4.96図 L-8リニアメント詳細ルートマップ (b地点)



第1. 4. 97図 L-8リニアメントb地点の露頭スケッチ (Loc. L8-2)



第1. 4. 98図 L-8リニアメント詳細ルートマップ (d地点)